

令和2年9月30日

町田製菓専門学校
校長 榎本 雄文 殿

学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員会報告

令和1年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 前田 聖子 (東京都洋菓子協会 理事)
- ② 佐藤 哲哉 (株式会社ありあけ 執行役員)
- ③ 松村 有希子 (株式会社ありあけ 卒業生)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- | | | | |
|--------|------------|--------------|---------|
| 第1回委員会 | 平成26年8月26日 | (会場 町田製菓専門学校 | カフェ実習室) |
| 第2回委員会 | 平成27年9月 2日 | (会場 町田製菓専門学校 | カフェ実習室) |
| 第3回委員会 | 平成28年8月31日 | (会場 町田製菓専門学校 | カフェ実習室) |
| 第4回委員会 | 平成29年8月30日 | (会場 町田製菓専門学校 | カフェ実習室) |
| 第5回委員会 | 平成30年8月28日 | (会場 町田製菓専門学校 | カフェ実習室) |
| 第6回委員会 | 令和 1年9月 4日 | (会場 町田製菓専門学校 | カフェ実習室) |
| 第7回委員会 | 令和 2年9月30日 | (会場 町田製菓専門学校 | カフェ実習室) |

3 学校関係者委員会報告

別紙のとおり

以上

I 重点目標について

1 重点目標①について

実践的な職業教育機関として、実社会と接点を持つということは重要です。コロナウイルスの影響もあって、今年度はなかなか難しいところもありますが、これからも、企業関係者の特別実習や講義を積極的に取り入れていく事を引き続きお願いします。

2 重点目標②について

社会人としてのマナーや礼儀というのは、実践教育を掲げる専門学校にとってとても重要なテーマです。引き続き目標を掲げて指導してください。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・人材育成像

社会のニーズが多様化してきている現代においては、洋菓子、パン、カフェなど様々な知識・技術を習得する機会を設けることは、とても大切なことだと思います。引き続き、社会のニーズに合致した人材育成を心がけてください。

2 学校運営

特になし。

3 教育活動

資格取得に向けて、試験対策や補講を行っているのは、良いことだと思います。今後も引き続き合格率100%を目指して指導にあたってください。

4 学修成果

就職率が毎年高いのは、とても良いことです。1年生のうちから行っている就職関連の授業などが、就職への意識を高めるために効果的に作用しているのだと思います。

離職率が業界全体で高いので、就職先でのミスマッチが起きないように、今後も面談を重ね、学生さん個々の能力に適した就職先というのを決定していただければと思います。

今年度については、コロナウイルスの影響もあって、飲食関係の就職は、かなり厳しいと聞いております。就職先の確保にむけて例年以上に学校として取り組んでいただきたいと思います。

5 学生支援

中途退学率が、依然として高いですね。

学生の性格や性質も時代とともに変化していくものです。教職員の方の意識もそれに伴って変化していく必要があるように思います。

今後も、学生さんの異変をいち早く察知し、教職員間で情報を共有し、学校全体で、問題の早期解決を図れるよう指導にあたってください。

6 教育環境

特になし。

7 学生の募集と受入れ

特になし。

8 財 務

特になし。

9 法令等の遵守

特になし。

以 上